

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名【新】私立学校等スクールバス利用料支援補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課

電話番号：058-272-1111(内4976)

私学助成係

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 補正要求額 20,513 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 予算額	20,513	0	0	0	0	0	0	0	20,513
決定額	20,513	20,513	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 令和4年4月26日に政府がコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を閣議決定し、コロナ禍において直面する物価高騰による影響を緩和するための対応を緊急かつ機動的に実施することとされた。
- 同対策では、地方自治体がコロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充が図られ、同交付金により、事業者に対する燃料費の支援を実施することが可能とされている。
- 5月26日に開催した「子ども・家庭支援に関する意見交換会」において、私学団体から、スクールバス燃料費が上昇しており、保護者負担額の維持が困難である旨の意見があり、各私立学校へのアンケート調査でも、同様の報告があった。
- このため、私立学校に対するスクールバス利用料支援を行う。

(2) 事業内容

私立学校設置学校法人に対し、燃料価格高騰によるスクールバス利用料の引上げ相当額を補助する。

対象校種：幼稚園、小・中・高等学校、専修学校、各種学校

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10負担

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当予定

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	20,513	私立学校等スクールバス利用料支援補助金
合計	20,513	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念に基づく特色ある教育活動を行っており、本県の学校教育において重要な役割を果たしていることから、私立学校が、特色と魅力のある学校づくりに向けて、児童生徒のニーズに応えられるよう支援していく。

(2) 国・他県の状況

- ・国は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用可能な事業として、生活者・事業者に対する燃料費高騰の負担軽減を挙げている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校助成事務は県の事務であり妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私立学校等スクールバス利用料支援補助金
補助事業者(団体)	私立学校設置学校法人 (理由) 燃料費の高騰によりバス利用料が引き上げられないよう私立学校の運営者に補助する
補助事業の概要	スクールバス利用料の引上げ相当額の補助 (内容) バス利用料引上げ相当額を補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) バス利用料引上げ相当額を補助 (理由) 燃料費高騰の影響によるバス利用料の引上げ相当額を軽減するため
補助効果	保護者の負担回避
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 臨時的措置である単年度事業であるため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①設定困難						

補助金交付実績 (単位:千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	燃料価格は大幅に増加しており、必要
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の周知
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 燃料費高騰等の状況により、事業継続の可否を判断
